

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-220023 (P2003-220023A)

【公開日】平成 15 年 8 月 5 日 (2003.8.5)

【出願番号】特願 2002-229001 (P2002-229001)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 1/00

A 6 1 B 1/04

A 6 1 B 5/07

A 6 1 B 17/00

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

A 6 1 B 1/04 3 7 2

A 6 1 B 5/07

A 6 1 B 17/00 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 1 日 (2005.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生体内で装置を操作するためのシステムであって、前記システムは 長手軸、末端および基端を有する管と、

前記管の末端に複数の変更可能な位置において接続されるよう構成される生体内センシング装置とを含む、システム。

【請求項 2】

生体内センシング装置は少なくとも 2 つの光路を含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

生体内センシング装置は光学ウィンドウを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

生体内センシング装置は、少なくとも 1 つの第 1 のモードおよび少なくとも 1 つの第 2 のモードにおいて管の末端に変更可能に接続され、

少なくとも 1 つの第 1 のモードにおいて、センシング装置は管の末端に接続されて管の長手軸に沿って連続体を形成し、

少なくとも 1 つの第 2 のモードにおいて、センシング装置は管の長手軸に沿って連続体を形成しないように管の末端に接続される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

少なくとも 1 つの第 2 のモードにおいて、センシング装置は管の長手軸に対して実質的に平行に位置決めされるように管の末端に接続される、請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 6】

管は少なくとも 1 つの作業チャネルを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

管はリトラクタブルアームを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

生体内センシング装置はヒンジによって管に結合される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 9】

生体内で装置を操作するための装置であって、前記装置は 末端および基端を有する管と、

前記管の末端に複数の変更可能な位置において接続されるよう構成される生体内センシング装置とを含み、前記センシング装置は第 1 の位置から第 2 の位置へ移動され得る、装置。

【請求項 10】

第 1 の位置は実質的に管の軸上の断面内にある、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 11】

第 2 の位置は少なくとも部分的に管の軸上の断面の外側にある、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 12】

第 1 の位置において、センシング装置は実質的に管の長手軸と連続体を形成する、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 13】

第 2 の位置において、生体内センシング装置は管に横付けにして位置決めされる、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 14】

センシング装置と管とを接続する弾性のあるひもを含む、請求項 9 に記載の装置。